

第六次川越市国際化基本計画 (令和8年度～令和12年度)

全ての市民が輝く多文化共生のまちづくり

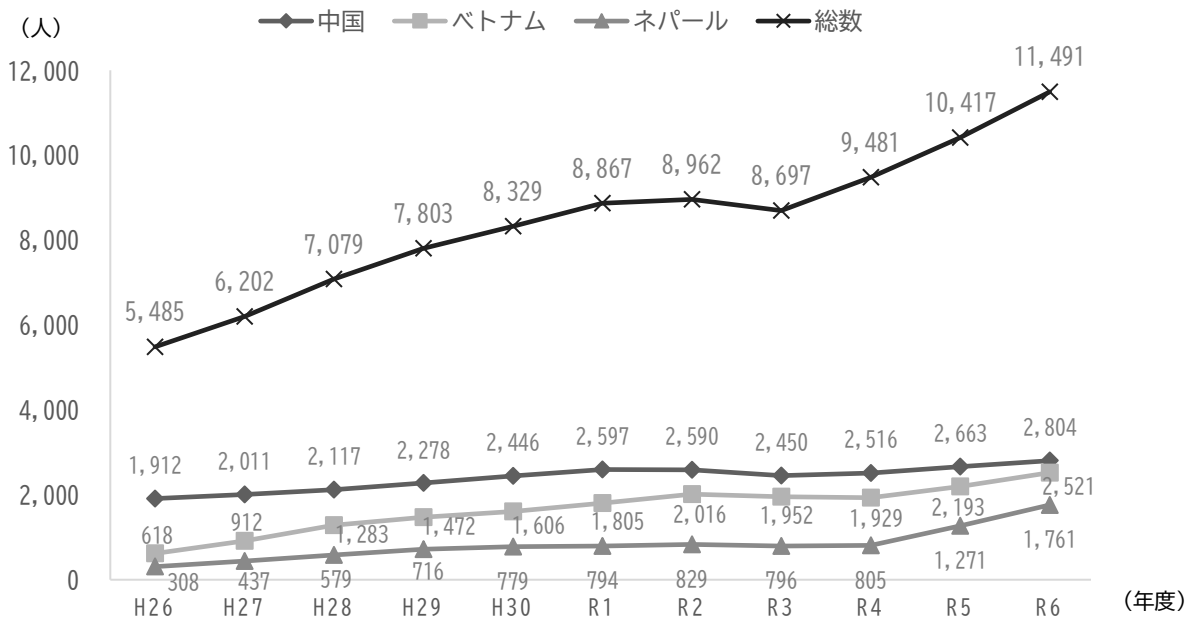
【概要版】

川 越 市

●計画策定の背景 ～川越市における外国籍市民の現状～

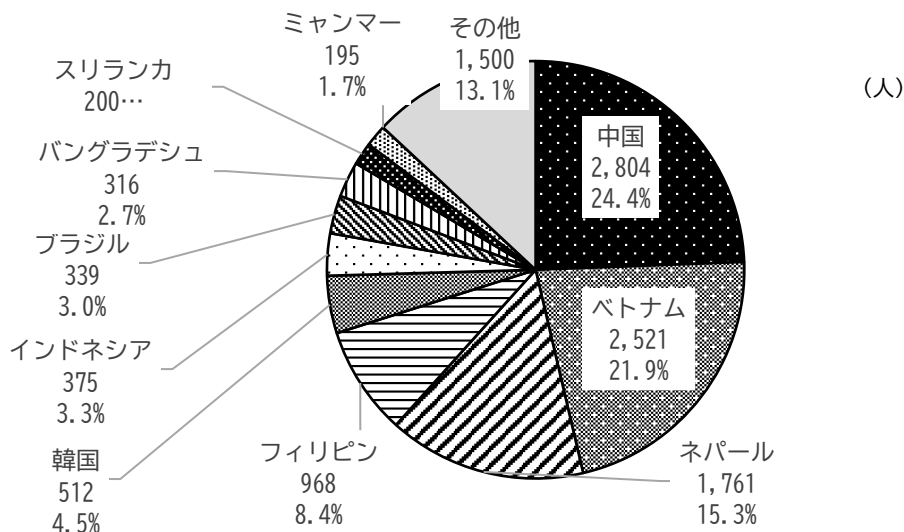
川越市には令和7年3月末現在 11,491 人の外国籍市民が生活しており、総人口の約 3.3%を占め、10 年前の 5,485 人（平成 27 年 3 月末日時点）に比べて 2.1 倍に増加しています。また、出身地も 80 の国や地域と広範囲に及んでおり、国籍別では中国、ベトナム、ネパール、フィリピン、韓国、インドネシア等のアジア出身の外国籍市民が多い点が特徴です

【外国籍市民数の推移】



資料：川越市住民基本台帳（各年度末時点）

【外国籍市民の国籍別人数】



資料：川越市住民基本台帳（令和6年度末時点）

●計画の概要

位置づけ	この計画は、「第五次川越市総合計画」を上位計画とし、関連する計画との整合を図りながら、本市の国際化及び多文化共生施策を総合的かつ計画的に推進するものです。
期間	令和8（2026）年度から令和12（2030）年度の5年間
基本理念	全ての市民が輝く多文化共生のまちづくり

●計画の体系と施策の内容

基本目標	施策目標	主な事業
1 外国籍市民への支援の充実	コミュニケーション支援	市HP, 市SNSの多言語化・やさしい日本語化など (全10事業)
	外国籍市民の生活支援	就学状況の把握など (全12事業)
2 外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり	社会参画支援	外国籍市民会議の開催など (全5事業)
	多文化共生の場づくり	国際交流・多文化共生に係る市民団体等への支援など (全3事業)
3 多文化共生意識を持った市民の育成	意識啓発・人材育成	不当な差別的言動の解消など (全5事業)
4 姉妹・友好都市交流などの充実	姉妹・友好都市交流	川越市姉妹都市交流委員会への支援など (全5事業)

●計画の推進体制

主体	役割
市民	異文化への理解・尊重
市	具体的な施策の実施、各実施主体との情報共有・連携・協働
NPO法人・ボランティア団体等	行政等との協働による支援
教育機関	適切な学習指導、生活支援、人材の育成
医療・保健・福祉関係機関	情報提供、受入体制の整備
民間事業者	労働環境の確保、生活支援
自治会	外国籍市民の受入れ、多文化共生の地域づくり

PDC Aサイクルにより計画の進行管理を行います。

●計画の指標

基本 目標	指 標	単位	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	日本語教室延べ参加者数	人	4,423	5,000
2	川越市の住みやすさ	%	54	60
3	ボランティア活動者数	人	3,563	3,800
	地域で外国籍市民との交流や 付き合いがある市民の割合	%	7.3	10
4	海外姉妹都市交流件数(2年間の平均)	件	3.5 (5・6年度)	4 (11・12年度)

発 行 川越市文化スポーツ部国際文化交流課

川越市元町1丁目3番地1

電話 049-224-8811

FAX 049-224-8711